

短期予報解説資料 2025年10月19日03時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

① 500hPa 5520m付近のトラフに対応して前線を伴う低気圧が千島近海を東北東進。寒冷前線が低気圧から日本の東～関東地方～東シナ海にのびている。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、四国の南～伊豆諸島付近で、激しい雨を解析。低気圧や前線周辺及び大陸の高気圧が張り出している北～西日本の日本海側を中心に気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹いて、波が高く、しけている所がある。

② 先島近海では、フィリピンを

西進する台風第24号北側の下層暖湿気の影響や、日本の南に張り出す太平洋高気圧の縁辺を回る下層暖湿気の影響で、雷を検知、海上で非常に激しい雨を解析。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の前線は21日にかけて、南西諸島～伊豆諸島付近に南下してほとんど停滞する。特に19日午後～20日朝にかけては500hPa 5820m付近の正渦度移流の影響で降水が強まり、強い雨や激しい雨の降る所がある。18日の雨で地盤の緩んでいる北陸地方では、19日はじめは土砂災害に警戒。南西諸島と伊豆諸島では21日にかけて、西日本では20にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷、突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。

② 大陸の高気圧が日本海や東シナ海に張り出し、2項①の前線との間で気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹き、波が高くなり、しける所がある。北日本では19日は、東～西日本では21日にかけて、強風や高波に注意。

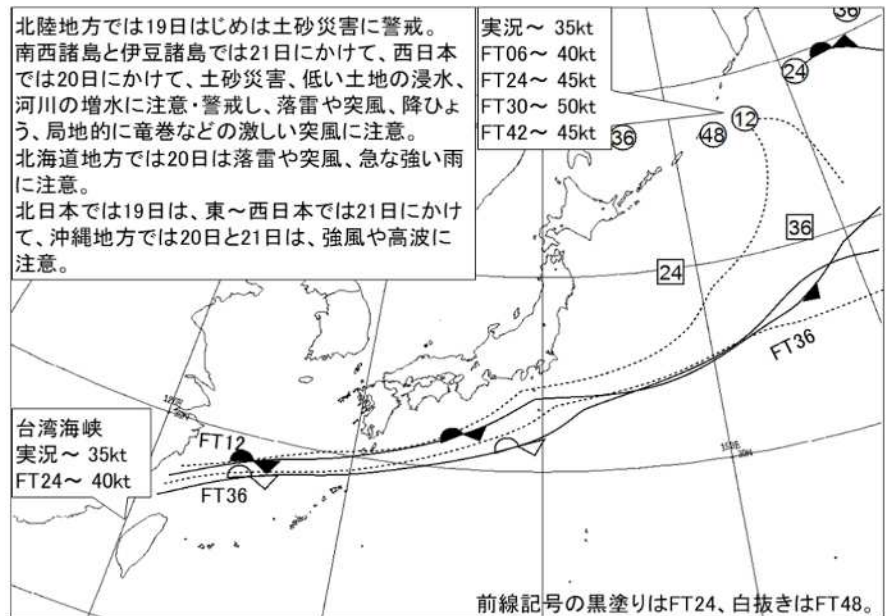
③ 1項②の台風は19日日中には南シナ海に進み、21日にかけて南シナ海を西進する。また、日本の南に張り出す高気圧の縁辺を回る下層暖湿気の流れで引き続き大気の状態が不安定となる所がある。また、高気圧縁辺を回る吹送・吹続の長い東よりの風の影響で、波の高い状態が続く。沖縄地方では21日にかけて、落雷や突風、短時間強雨に注意し、20日と21日は、強風や高波に注意。

④ 北海道地方には21日にかけて、850hPa -6℃以下の寒気が流入し、20日は地上の気圧の谷が通過して大気の状態が不安定になる所がある。北海道地方では20日は、落雷や突風、急な強い雨に注意。また、北海道地方では日本海側やオホーツク海側を中心に平地でも雪が降り積雪となる所がある。積雪や路面の凍結による交通障害に留意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時から24時間):多い所(100mm以上)はない。② 波浪(明日まで):九州北部4、北海道・東北・関東・伊豆諸島・北陸・近畿・中国・沖縄3m。③ 高潮(明日まで):大潮の時期。大潮の時期。西～東日本では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。



主要じょう乱解説図